



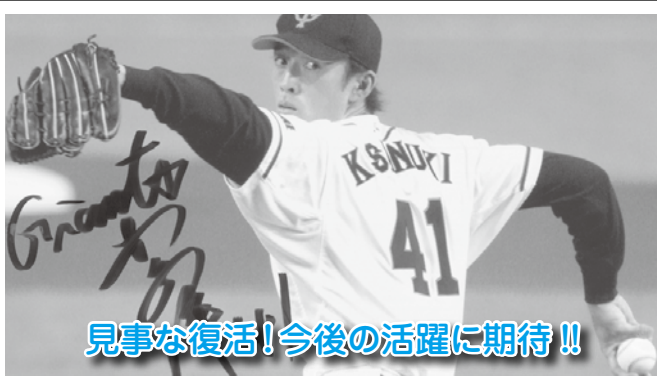
工事施工企業の努力に対し、表彰

市が行う建設工事などについて施工状況や品質などに対し工事成績評価を実施し、公共工事の適正な施工の確保と技術力の向上に努めています。11月19日には県内市町村では初めてとなる、平成17年度発注工事検査対象653件のうち7件を、平成18年度発注工事検査対象688件のうち8件を優良建設工事施工企業などとして表彰しました。



警察と連携し暴力団を排除

10月25日、市と薩摩川内警察署は県内で初めて、建設工事などにおける暴力団などの排除に関する協定書に調印しました。市から依頼を受けた警察からの情報で、入札参加業者が暴力団などと密接な関係が確認されれば、最長2年の指名停止などの措置をとることができます。また、同時に市営住宅などにおける暴力団排除の協定書への調印もありました。



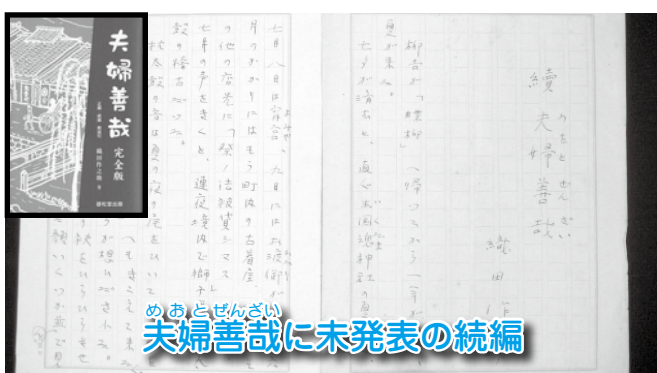
見事な復活! 今後の活躍に期待!!

本市出身でプロ野球読売巨人軍の木佐貴洋投手が、復活をかけた年に年間12勝を挙げセリーグ優勝に大きく貢献。市民やファンの期待に見事応えてくれました。また、地元の永利地区コミュニティ協議会は同投手を応援しようと中学・高校時代にランニングした市道を「木佐貴ロード」と命名し、看板を設置。今後も熱い応援を胸に気張れ! 木佐貴!!



住みよい地域をつくります

本市域のブロードバンドゼロ地域解消のために、本土地域と無線通信であった甌島地域間を、電気通信事業者と共同で海底光ケーブルを敷設します。この整備は、本土地域との情報通信格差を解消し、行政サービス業務の高度化および市民の情報通信サービスの利便性向上を目的に取り組んでいるものです(写真右は敷設ルートを調査する調査船)。



夫婦善哉に未発表の続編

川内まごころ文学館に収蔵されている織田作之助「續夫婦善哉」直筆原稿が、未発表のものであることが研究者らの調べで分かりました。本原稿は有名な「夫婦善哉」の続編で、200字詰め原稿用紙99枚に万年筆で書かれており、柳吉・蝶子夫婦は大阪から大分県別府に移っていきます。本編を収録した「夫婦善哉完全版(雄松堂出版)」も刊行されました。



川内川激特事業が本格的に始動

平成18年7月の県北部豪雨で多大な被害を受けた川内川流域で行う河川激甚災害対策特別緊急事業(河川激特事業)の着工式が8月に大口市でありました(写真)。現在、宮崎県えびの市から本市までに及ぶ川内川の総合治水に向けて、測量など本格的な事業が始まっています。今後も早期完成に向けた取り組みを積極的に行っていきます。